

市長発言要旨

【発表事項】

① 「第3回よねざわ戦国花火大会」ガバメントクラウドファンディング（GCF）実施のお知らせ

令和8年10月10日に開催予定の「第3回よねざわ戦国花火大会」に関する取組についてご説明いたします。

本大会は、米沢市オリジナルの花火大会として、地域に新たな魅力と風景を創出する重要な事業であり、現在、まさに定着と発展の段階にあります。

市民の皆様はもとより、市外から訪れる多くの方々にとっても、本市の魅力を感じていただける機会となっておりますが、一方で、財源の確保が大きな課題となっております。

そこで、本市ではクラウドファンディング型でふるさと納税を募る仕組みである「ガバメントクラウドファンディング」を活用し、広く皆様からのご寄附を募ることで、本大会の安定的な運営基盤の確立を目指してまいります。

募集期間は、5月8日(金)から8月5日(水)までの90日間で、寄附目標額は400万円としております。いただいたご寄附は、花火大会の魅力向上や安全で質の高い運営のほか、地域に根差した持続可能な大会づくりのために活用してまいります。皆様の温かいご支援を心よりお願い申し上げます。

なお、昨年は、青年団体が中心となりクラウドファンディングを行いました。今年度はふるさと納税と連動したガバメントクラウドファンディングにより財源の確保を図ってまいります。

② 米沢市官民連携 DX チャレンジプロジェクト実施のお知らせ

次に、「米沢市官民連携 DX チャレンジプロジェクト」事業募集のお知らせについてご説明いたします。

この事業は、先駆的なデジタル技術を開発・導入・支援するチャレンジ精神の高い事業者と米沢市が連携し、市が抱える課題をデジタル技術で解決する実証事業を通じて「米沢モデル」を確立することを目的としています。また、この取り組みを通じて、市民サービスの向上、行政の効率化、そして市内経済の活性化を目指しています。

今年度は本市が抱える7つの課題に対し、デジタル技術を活用した課題解決を提案いただくプロジェクトを募集します。

次に、今年度募集しているプロジェクトです：

1. デジタルでつなぐ多世代型町内会共助モデル構築プロジェクト

町内会運営のデジタル化に関する改善提案を募集します。

例) 回覧板のデジタル化や町内会費のデジタル通貨による決済

2. タクシーのデジタル配車プロジェクト

タクシー利用の利便性向上を目指す改善提案を募集します。

例) ドライバー不足による待ち時間の課題解消に向けた、効率的なデジタル配車

3. 引きこもり支援プロジェクト

デジタル技術を活用して社会との接点を作る改善提案を募集します。

例) メタバース空間でのつながりを契機とした社会との接点づくり

4.児童発達支援オンラインサービスプロジェクト

デジタル活用により、子育ての不安を解消する改善提案を募集します。

例) 子育ての不安解消のためオンラインによる相談体制づくり

5.「見える化」によるゼロカーボンシティの実現プロジェクト

脱炭素への市民実践を促す提案を募集します。

例) 自分のこととしてわかりやすい「見える化」を図るプロジェクト

6.避難情報伝達で守る地域と高齢者の未来づくりプロジェクト

中山間地域などへの確実な避難情報の伝達手段に関する改善提案を募集します。

例) タブレット端末の配付による情報伝達

7.野生動物出没情報の市民即時共有ネットワークづくりプロジェクト

野生動物出没情報の迅速な共有を目指す改善提案を募集します。

以上、七つの分野で企業の方々から御提案をいただき、本市で実証実験を行っていくものです。予算は600万円を計上しています。

なお、募集プロジェクト等の詳しい内容は、米沢市公式ホームページに掲載しております。

応募期間は6月30日までです。

米沢市の課題解決に向け、デジタル技術を活用した意欲ある市内外の企業の皆様からのご提案を心よりお待ちしております。